

ハシビロガモ（カモ科） 全長50センチ

4月に入ったが、大浦沼には冬鳥のハシビロガモが10羽ほど滞在していた。

他のカモ類と比べ極端にでかいクチバシです。頭が重くないのかと心配するほどである。幅広なクチバシを左右に振りながら、吸い込んだ水を歯ブラシ状の突起でろ過し、水中のプランクトンを食べているそうです。



幅広なクチバシは重そうだ。

オスは目立つ色合いであるが、メスは地味な存在です。

オスは首を上を伸ばしたり下げたりしながら、メスに近寄っていった。メスもオスの行動に合わせるかのように首を振っている。繁殖行動のディスプレイです。やがてオスはバタバタと羽ばたき、盛んにアピール。メスも応えるかのように羽ばたいていた。



オス（左）の目は黄色ですが、メスは褐色でした。



オスが首を伸ばしながらメスに近づいてきた。

遠いロシアなどの繁殖地に到着するには、長い道のりと時間がかかることでしょう。来シーズンも元気な姿を見せてもらいたいものです。



風切り羽の鮮やかなコントラスト。



二人は群れから離れ、愛を確かめているようだ。